

新聞意見広告にご協力いただいた皆様へ

ご報告と御礼

陽春の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、ご協力いただきました「安倍政権による9条改憲を許しません！戦争をする国にさせてはなりません！」の新聞意見広告を、4月28日の朝日新聞埼玉版に掲載することができました。心から御礼申し上げます。

暴走する安倍政権への市民のみなさんの強い危機感から、昨年を上回る多くのご賛同をいただくことができました。

昨年同様、「戦争をさせない埼玉県1000人委員会」が呼びかけ団体となり、郵便振り込み用紙のついたチラシを作成しました。

2月15日には、「いま、沖縄でなにが？—沖縄からみえる改憲後の日本—」を開催し、山城博治沖縄平和運動センター議長に、沖縄の闘いについて講演していただきました。会場が満席になるほど多くの市民の皆さんの参加で成功裏に開催することができました。こうしたとりくみの成果だと考えております。

安倍政権による政治の私物化は、森友・加計学園疑惑、防衛省の「日報」隠蔽等に見られるように、国の根幹を崩壊させる事態を招いています。一日も早く安倍政権を退陣させなくてはなりません。そして、市民が安心して暮らせる、当たり前前の政治の実現を確立することが求められています。

また、信じられないことに4月24日、幹部自衛官が小西洋之参議院議員に対して、「国益に反する」「国民の敵」などと、信じられない暴言をはいたことが報じられました。文書の隠蔽問題などと考え合わせると、シビリアンコントロールがまったく効いていないことが明らかです。このような事態で自衛隊を憲法に書き込むことなど、言語道断であり断じて認められるものではありません。

私ども戦争をさせない埼玉県1000人委員会は、安倍政権による改憲を絶対に許さないために、引き続き広範な運動をつくりあげていくために全力を尽くして参ります。

末尾となりましたが、皆様のご健勝とご活躍をお祈りするとともに、重ねてご協力いただいたことに感謝申し上げ、御礼とさせていただきます。

敬具

2018年5月吉日

戦争をさせない埼玉県1000人委員会
事務局；埼玉県平和運動センター